



# ホット・ホット・越谷

平成 22 年 4 月発行 No.26

TEL 048-986-9553

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com

〒343-0841 越谷市蒲生東町 8 番 37 号

FAX 048-989-2397

URL <http://www.starosamuchan.com/>

## 高齢者に笑顔を！子どもたちに夢を！地域に活力を！

越谷市消防署蒲生分署は、越谷市南部地域の消防力の強化を図るため、昭和 48 年 3 月に開所すると同時に、地域の防災拠点施設としての重要な役割を果たしてきましたが、建物や設備の経年劣化による老朽化や、女性職員の採用に伴い女性職員が当直勤務できる施設の整備などが求められていたため、市民の安全を守る防災拠点として大災害時にも対応できる耐震性に優れた消防庁舎に建替えをしました。概要は次の通りです。配置人員(分署長以下 37 名)



総事業費 383,375,800 円・敷地面積 1,336.17 m<sup>2</sup>・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建  
車両配置・消防ポンプ自動車・化学消防車・高規格救急自動車・資機材搬送車・事務連絡車。

## 持論

昨年、政権交代をもたらした民主党の目玉政策である「子ども手当」がこの四月からスタートした。しかし、この制度には多くの問題点があることを忘れてはならない。第一に、恒久的な政策として来年度から防衛費をはるかに上回る 5 兆 3 千億円の財源が必要になるが、どのように捻出していくのか。第二に、所得制限がないので生活支援でもなく、お金の使い方に制限がないので教育支援でもない。故に目的と効果ははっきりしていない。第三に、支給対象が中学校卒業までの子供のいる保護者であり、それ以外の人は対象外となるため不公平な制度と言わざるを得ない。この政策の根底には「子供は社会全体で育てる」との考え方があり、本来、子供を育てるのは親であり家庭であることを忘れてはならない。以上のことを勘案すると、民主党の政策は無駄遣いをなくし、それ以上の無駄遣いをしている選挙目的の政策といえるのではないだろうか。

# 越谷市議会議員伊藤おさむの議会報告！

## 「3月定例会報告」

平成 22 年 3 月定例会市議会が、2 月 24 日から 3 月 17 日までの 22 日間にわたり開催され、市長提出議案 37 件、議員提出議案 1 件、委員会提出議案 1 件がそれぞれ同意、可決されました。

また、3 月議会は越谷市の 1 年間の予算を審査するため、予算特別委員会が設置され一般会計 767 億円、特別会計 525 億 4,450 万円、病院事業会計 104 億 5,700 万円がそれぞれ可決され、総額 1,397 億 150 万円の予算規模となりました。

## 議会による事業仕分けを提案！

3 月議会での代表者会(5 会派)において、私は自由民主党市民クラブを代表して「議会全体で事業仕分けに取り組むべき」と提案させていただきました。

昨年の政権交代により事業仕分けが取り上げられておりますが、無駄を省くという観点から見れば大いに評価されるものと考えております。越谷市でも、これまでに多くの議員から事業仕分けの必要性について一般質問等で取り上げられてきましたが、行政側は「行政評価を実施するとともに外部評価を行っている」と事業仕分けの必要性を肯定してきませんでした。

そこで、事業仕分けを行政主導で行うのではなく、市民から負託された議会が主体的に行動すべきとの考えのもと代表者会で事業仕分けを提案させていただきました。

結果については、今後の代表者会において賛否が明らかになりますが、全会一致でなければ議会全体で取り組むことができませんので各会派の良識に期待したいと思います。

## 代表質問(質問事項)

- 1・地方分権における越谷市の将来像について
- 2・市長のリーダーシップについて
- 3・保健所開設について
- 4・子ども手当に対する市長の考え方について
- 5・第 4 老人福祉センターについて
- 6・越谷駅東口市街地再開発事業について
- 7・教育行政について
  - (1) 学習指導要領の遵守について
  - (2) 学校内における警察介入の基準について



※次の手順で録画中継をご覧ください(インターネット検索!!)

越谷市公式ホームページ⇒市議会⇒議会中継⇒議会録画映像を見る⇒  
⇒平成 22 年 3 月定例会⇒第 7 日(5 時間 20 分)⇒伊藤 治議員代表質問

# 議会改革の一環

## 先進地を視察

去る二月八日から十日までの三日間にわたり、議会運営にかかわる一般質問、議案質疑、請願審査について、先進地である滋賀県草津市、三重県伊賀市、兵庫県宝塚市への行政調査を行いました。



越谷市議会では昨年の六月議会から一般質問における一問一答式の試行及び検証を行ってきた経緯があり、各市議会における一般質問の取り組み

方を学んできました。

伊賀市議会(写真上)では、議会活性化への取り組みとして、市民の目線に立った議会を目指し、平成一九年二月に議会基本条例が制定されましたが、主な特徴として議会報告会の実施や反問権の付与、或いは政策討論会の実施が盛り込まれていました。

一般質問においては、一括質問・一括答弁式及び一問一答式を採用しておりますが、最近の状況では一問一答式が選択されているとのことでした。

次の宝塚市(写真下)の議会活性化の取り組みでは、全議員にパソコンを配置し、本会議録や通知等はメールにて送信し印刷部数の大幅削減を図るとともに、委員会において筆記に代わるものとしてパソコンの使用を認めておりました。また、平成一六年六月から議会運営委員会を除く委員会等の会議録を公開し、インターネット上で閲覧、検索できるようにいたしました。

また、一般質問においては、

一括質問・一括答弁式と再質問からの一問一答式の選択制を採用していました。



このように、先進地では一般質問において、全ての市議会で一問一答式を採用していることが分かりました。

## 議会運営委員会

### 提出議案を可決

越谷市議会としては、議会活性化の一環として、一般質問において、よりわかりやすく、論点が明確になるよう一問一答式の導入について検討を重ね

てまいりましたが、その結果、平成二十二年六月議会から選択制による一般質問を本格実施することに伴い、発言場所及び質問回数制限に関する規定を改正しました。

改正の内容は、これまで発言は登壇を原則とし、議席からの発言については例外規定としていましたが、一問一答式を選択した場合、再質問から議席で発言するようになるため、発言場所に関する部分を削除するとともに、文言の整理を行いました。

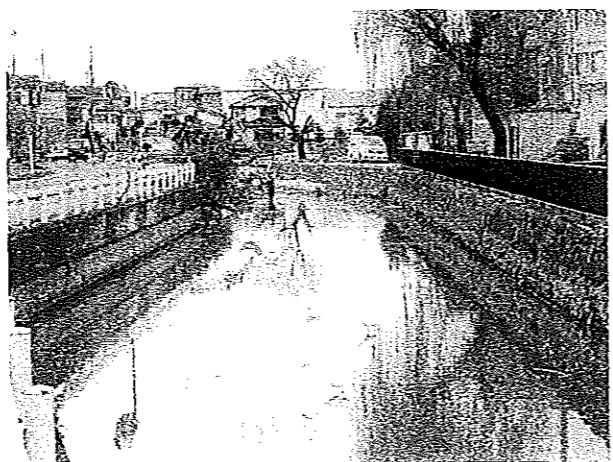
また、一問一答式を選択した場合は、質問回数の制限を設けないため、質疑の回数に関する規定を準用しないように改めました。

私は、昨年の六月議会から議会運営委員長として、一般質問における一問一答式を議会改革の柱と位置づけ検証してまいりましたが、三月議会で一定の区切りをつけることができ、たことは、行政調査を通して議会の在り方を確認したことが最大の要因と考えております。

## 地域を流れる川

### 葛西用水の整備

埼玉県は、首都東京に隣接し、発展した公共機関や道路網を持つ一方、水と緑に恵まれた田園都市のゆとりを併せ持つなど、多様な資源を有しています。そこで、埼玉県では県土面積の約5%を占める水辺空間を活かし「川の国、埼玉」を創るため、平成二〇年に水と緑の田園都市・水辺再生事業が設けられました。



### 老人福祉センターの

### 測量費二七〇万計上

三月議会において、平成二十二年予算が可決されましたが、その中に第四老人福祉センターの測量費(二七〇万円)が計上されました。

第四老人福祉センター設置については、川柳地区を念頭に整備する計画がありますが、今回の測量費の計上で、ようやく本格的に動き出した感があります。私は、選挙公約でもある第四

老人福祉センター設置について、「早期実現を目指すよう」三月議会の代表質問で取り上げ

ましたが、「候補地の地権者及び関係団体との協議を重ね、用地取得や建設に当たっての法的条件整備のため関係機関との調整を行いながら第四次総合振興計画に基づき取り組んでまいりたい」との答弁がありましたので、完成時期については現在策定中の第四次総合振興計画の中で明らかに成るべくしてまいります。

さらに三月議会では、この第四次総合振興計画に関する議会側の取り組みとして、第四次総合振興計画特別委員会が設置されましたが、私も選出された委員として引き続き第四老人福祉センターの早期実現に向けて発言をしていきたいと考えています。

## 普天間基地問題

鳩山政権が発足して半年が過ぎましたが、この間の政権運営を評価しない意見が六六%に達したことが毎日新聞の世

論調査で明らかになりました。その一つが普天間基地の移設問題です。

鳩山首相の「国外移転、最低でも県外」との発言は、沖縄県民のみならず、各地の基地反対派(写真左)に評価されています。しかし、実現する可能性は限りなく低く、多くの国民が現状を把握してきた結果が世論調査に表れたものと考えています。

もし、公約が実現できない場合は、あたかも基地が沖縄から無くなる幻想を抱かせた鳩山首相の発言は、罪深きものになるのではないのでしょうか。

